

經濟水道委員会

説明資料

平成28年12月5日
観光文化交流局

目 次

	頁
1 完成期限の見直しにかかる弁護士の見解……………	1
2 優先交渉権者選定後の完成期限に関する考え方……………	2
3 名古屋城の入場者数見込み（平成34年7月天守閣竣工）……………	3
4 天守閣整備にかかる財源フレーム（案）……………	4
5 天守閣整備にかかる各種工事の物価上昇……………	7
6 平成29年4月末に本市から契約を任意解除した場合の損害賠償……………	8
7 天守閣整備にあたって克服すべき課題にかかる 株式会社竹中工務店名古屋支店の考え方……………	9

（添付資料）

平成34年7月天守閣竣工の工程案（詳細）

1 完成期限の見直しにかかる弁護士の見解

区 分	内 容
見解1	<ul style="list-style-type: none"> 完成期限を見直すことは、プロポーザルの前提条件を大きく変更することになりできない
見解2	<ul style="list-style-type: none"> 完成期限を見直すことは、竹中工務店の責めに帰すべき事由でなく、公募後に生じた熊本地震及び議会における審議を踏まえ見直したものであり一定の根拠がある また、その変更箇所以外について、提案内容と同一性を有しており名古屋市の裁量権内の行為と考える
見解3	

2 優先交渉権者選定後の完成期限に関する考え方

区 分	内 容
平成28年 3月29日	優先交渉権者を株式会社竹中工務店名古屋支店（以下「竹中工務店」という）に選定 （完成期限：2020年7月）
4月14日	熊本地震発災
6月定例会	委員会において、収支・入場者数見込みの第三者機関による調査、総事業費の妥当性、天守台石垣の整備方針等について課題がある旨指摘
	市長が、委員会において提案を受けた2026・2027年を目途に完成期限を見直すことについて検討する旨発言
7～9月	完成期限の見直しにかかる法的課題について弁護士に確認
9月定例会	本市には、優先交渉権者とともに事業を推進する法的責務があり、本市の方から一方的に中止できないと判断
	熊本地震やこれまでの議会審議の状況を踏まえ、完成期限の見直し（2年延長）を表明（完成期限：2022年7月）
	委員会において、工程について、竹中工務店との協議の必要性、訴訟リスクにかかる不安要素の整理等について指摘
10～11月	竹中工務店と完成期限を見直した工程について協議
	弁護士、国土交通省中部地方整備局、公正取引委員会中部事務局に完成期限の延長についての考え方を確認
	プロポーザル事業にかかる評価委員より、完成期限を延長した工程についての技術的な側面からの評価を聴取
11月定例会	竹中工務店と協議をした工程表を提示

3 名古屋城の入場者数見込み（平成34年7月天守閣竣工）

年度	入場者数	前年度比	増加要因	減少要因
27	万人 174	% —		
28	205	118	・本丸御殿第2期公開	
29	158	77		・石垣調査に伴う入場禁止
30	134	85	・金シャチ横丁第1期開業 ・本丸御殿全面公開	
31	112	84	・展示収蔵施設完成	・天守閣解体工事
32	162	145	・天守閣木造復元工事 見学施設完成	
33	162	100		
34	389	240	・天守閣木造復元	
35	452	116		・ブームの縮小
36	407	90		
37	366	90		
38 ～ 83	366	100		

4 天守閣整備にかかる財源フレーム (案)

(1) 総事業費及び財源内訳

(単位：百万円)

区 分		金 額	内 容
総事業費		50,500	・基本設計、実施設計 ・仮設工事、解体工事、本体工事、石垣工事
財源内訳	起債	50,500	・観光その他事業債 (充当率100%) ・収支相償する事業であることを確認するため、償還期間における収支計画を策定 ・天守閣にかかる収支を明確にするため、特別会計を設置

注 総事業費には工程見直しにより追加した石垣詳細調査にかかる費用及び建設費の上昇分は見込んでいない

(2) 平成28～83年度の収支計画

ア 前提条件 (全国型市場公募債の場合による試算)

区 分		内 容										
起債	償還期間	40年 (20年公募債、借換1回)										
	基金積立	当初 4年据置 毎年3% 借換 4年据置 毎年6%										
	償還利率	年0.665% (平成28年2月兵庫県発行実績)										
	年次割 (出来高)	28年度 0%、29年度 3%、30年度 6%、 31年度 8%、32年度 38%、33年度 22%、 34年度 10%、35・36年度 各1%、 37～42年度 各0.5%、43年度 8%										
使用料	<p>天守閣を整備するため、収支計画において、入場料を以下のとおりとした。ただし、市民については特別料金を設定する</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>現 行</th> <th>平成34年8月以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市 民</td> <td>500円</td> <td>450円</td> </tr> <tr> <td>市民以外</td> <td>500円</td> <td>1,000円</td> </tr> </tbody> </table>			区 分	現 行	平成34年8月以降	市 民	500円	450円	市民以外	500円	1,000円
区 分	現 行	平成34年8月以降										
市 民	500円	450円										
市民以外	500円	1,000円										
補助金	国及び県に対し要望をしていくが、現時点で確定的な収入見込額が算出できないため、計上せず											
寄附金	市民や企業等に対し広く寄附募集を募っていくが、現時点で確定的な収入見込額が算出できないため、計上せず											

イ 収入

(単位：百万円)

区 分	金 額	積算の考え方
使用料	102,133	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋城全体の入場料収入のうち、75%を天守閣に充当 ・平成34年度(8か月) 1,860百万円(335万人分) 平成35年度 2,509百万円(452万人分) 平成36年度 2,260百万円(407万人分) 平成37年度以降 2,032百万円(366万人分)

ウ 支出

(単位：百万円)

区 分	金 額	積算の考え方
公債償還金	60,565	<ul style="list-style-type: none"> ・元金 50,500百万円 ・利子 10,065百万円
運営管理費	28,183	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度実績に基づき算出 ・平成28～33年度(天守閣竣工前) 各年度平均約104百万円を計上 ・平成34～83年度 各年度平均約551百万円を計上
集客促進費	200	木造復元にかかる周年事業
修繕費	3,086	平成83年度までの必要額
基金積立	10,099	支出を上回る収入について基金積立
計	102,133	

注 「運営管理費」については、効率的・効果的な運営や大阪城など他の城郭における民間活力の活用状況を検討することにより、さらなる経費削減に努める

エ さらに収入増加に向けた取り組み

区 分	内 容
補助金	国や県に天守閣木造復元の意義や重要性を理解していただき、必要な措置を講ずるよう積極的に要望していく
寄附金	市民や企業等の理解と協力をいただけるよう県や県下市町村に働きかけながら機運醸成を図るとともに、募集方法を工夫するなどにより幅広く寄附を募る
使用料等	<ul style="list-style-type: none"> ・天守閣だけでなく、現在策定を進めている「特別史跡名古屋城跡保存活用計画」に基づき、整備を順次進めるとともに、エンターテインメント性の高い企画を継続的に実施するなど、名古屋城全体の魅力向上に努めるほか、本市の観光施策との一体的な展開等を行い、入場者数の増加を図る ・大阪城など他の城郭や民間の観光施設の取り組み状況の研究を進めるなど民間活力の活用について検討する

5 天守閣整備にかかる各種工事の物価上昇

(単位:千円 税抜)

区分		提案事業費	物価上昇率	上昇額
仮設・解体工事	素屋根工事	2,903,390	3.8%	110,329
	車路・栈橋工事	800,100	3.8%	30,404
	仮設橋梁工事	719,460	3.8%	27,339
	木材保管庫工事	571,440	3.8%	21,715
	解体工事	1,394,859	3.8%	53,005
	計	6,389,249		242,792
その他の工事	直接仮設工事	517,180	3.8%	19,653
	基壇・基礎工事	822,580	3.8%	31,258
	石工事	92,314	—	—
	木工事	16,113,575	—	—
	屋根工事	2,737,207	—	—
	左官工事	1,400,239	—	—
	鋳金具工事	975,779	—	—
	建具工事	902,293	—	—
	内外装工事	283,508	—	—
	雑工事	285,654	3.8%	10,855
	構造補強工事	1,297,654	3.8%	49,311
	設備工事	736,890	2.8%	20,633
	石垣工事(積直し)	4,309,110	—	—
	仮収蔵庫工事	745,290	3.8%	28,321
	WC別棟工事	210,000	3.8%	7,980
計	31,429,273		168,011	
合計	37,818,522		410,803	

注1 物価上昇率は、「経研標準建築費指数季報2016年秋季号(建設工業経営研究会)」の東京・標準建築費及び設備費指数表に基づく平成26年から平成27年における平均の物価上昇率より算定

2 伝統的建築分野の工事、木工事及び石垣工事については市況変化の根拠がないため、物価上昇率は算定していない

6 平成29年4月末に本市から契約を任意解除した場合の損害賠償

(1) 損害賠償の考え方

契約解除した時の出来高により清算する。その他の損害賠償の範囲については、別途協議する

(2) 想定出来高額

(単位：百万円)

区 分	契約予定額	想定出来高額
基本設計等	848	712
特別史跡外準備工事	105	41
計	953	753

注 想定出来高額は平成28年12月に契約すると仮定した場合の額

7 天守閣整備にあたって克服すべき課題にかかる株式会社竹中工務店名古屋支店の考え方

(1) 提案時

仮設工事、解体工事、天守閣木造復元工事、材料発注等の施工ステップに合わせた契約をタイムリーにさせていただきたく、文化庁協議の進展にかかわらず議会での予算承認等必要な手続きをしていただけることを前提としています

(2) 現在

木造復元天守の竣工時期に則して計画された各種工事・発注ステップに合わせた契約をタイムリーにさせていただきたく、文化庁協議の進展を踏まえながら議会での予算承認等必要な手続きをしていただけることを前提としています

